取扱説明書

Agripalette® アグリパレット®（植物病原検出キット）

ウリ科野菜果実汚斑細菌病菌（*Acidovorax avenae subsp. citrulli*：Aac）

【はじめに】

本製品は、ウリ科野菜果実汚斑細菌病菌（Aac）に対する抗体を用いた金コロイド免疫イムノクロマト法により、感染が疑われる植物の部位（葉、花、果皮等）及び培養した菌株から病原細菌を検査するキットです。

本製品は、種子や根の検査に対応しておりません。

【キットの内容】

※ 包装単位：５回用 x ２袋

名称	数量
テストストリップ（シリカゲル入り密封チャック付き袋）	５本
摩砕袋（抽出液 摩砕ネットを含む）	５袋
スポイト	５本
取扱説明書	１部

【全般的な注意】

1. 本説明書に記載された操作方法に従って使用してください。
2. 本キットは、ウリ科野菜果実汚斑細菌病菌（Aac）検査以外の目的に使用しないでください。
3. Aac 感染の確定診断には、葉などに現れる病徴や他の検査法の結果を合わせた、総合的な判定が必要です。

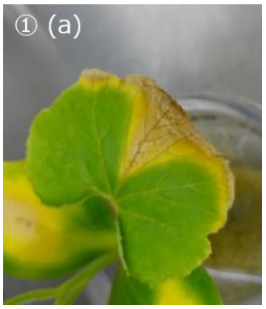
【サンプルの採取と調製】

冷蔵保存しているキットを包装袋ごと常温に戻し、検査試料の数だけ、包装袋から摩砕袋を取り出します。なお、下のすべての操作は、常温環境下で行って下さい。

① 検査試料の採取

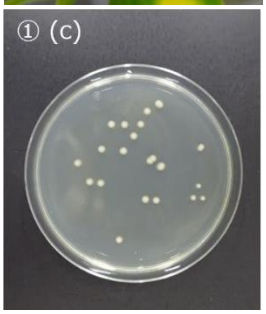
検査試料の採取前にはよく手を洗い、はさみなどの器具の消毒をしてください。
また、異なる株から採取を行うときはサンプルごとに器具を交換してください。

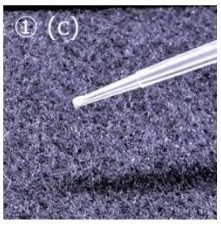
(a) 葉からの採取
本葉または子葉から浸水状斑点又は褐色病斑といった病徴を現した部分を約 0.2g（約 6cm²）採取します。採取した葉は磨砕袋に入れてください。



(b) 果実からの採取
浸水状斑点又は斑点状小病斑といった病徴を示した果実の皮から採取をします。皮の病徴部分をはさみなどで切り取り、約 0.4g を磨砕袋に入れてください。

(c) 培養細菌株からの採取
固体培地で培養した細菌のコロニーを用いた検定も可能です。
磨砕袋に入っている抽出液 500μl を試験管に注入しておき、チップや爪楊枝でかき取った細菌のコロニーを取り分けた抽出液に懸濁します。液体培養細菌の培養液を直接テストストリップに滴下して検定を行うことはできません。





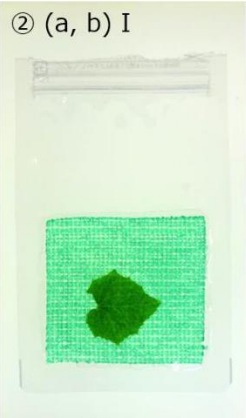
② 検査試料の調製

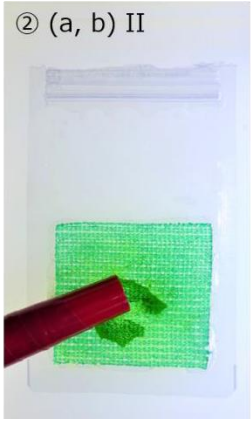
(a,b) 葉、果実から採取した検査試料の調製

I. 検査試料を摩砕ネットに接するように入れたら、袋内の空気を抜き、確実に袋のチャックを閉めます。

II. マジックペン等の先を用いて、袋の上から検査試料を摩砕します。

III. 検査試料の形が分からなくなるまで摩砕した後、摩砕袋を手で揉んで摩砕液を均一化します。





(c) 培養細菌株から採取した検査試料の調製
試験管を指で弾くなどしてよく混ぜます。

【検定】

③ 摩砕液の滴下

I. 使用直前にテストストリップを取り出し、平らな机等の上に置きます。

II. 摩砕袋から泡が入らないようにスポイトで摩砕液を吸い取ります。
（培養細菌株の検査試料は調製液（②-(c)）をスポイトで吸い取ります。）

III. テストストリップの検査試料滴下部（ドーナツ型の部分）に６滴ゆっくりと滴下します。

④ 結果の判定

滴下してから 10 分～15 分後、以下の『**判定**』をもとに結果を判定します。

『**判定**』

陽　性

判定窓の**赤紫色ラインが 2 本（コントロールライン(T1)、テストライン(T2)）**

陰　性

判定窓の**赤紫色ラインが 1 本（コントロールライン(T1)）**

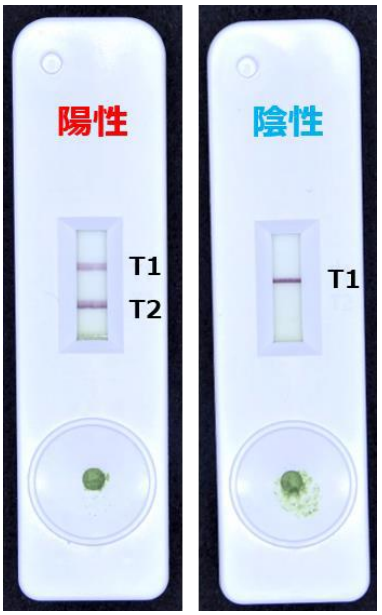
※15 分を過ぎてからテストラインが見えるようになった場合は陰性と判断してください。

再検査

判定窓の**赤紫色ラインが 1 本（テストライン(T2)）**

或いは、**ラインが出現しない**

※再検査の場合は、新しいテストストリップで再度検査を行なってください。



【交差反応性】

Agripalette®（Aac）は、以下の病原菌と交差反応を示さないことを確認しています。

学名	MAFF番号
Acidovorax avenae subsp. *avenae*	311167, 311311
Acidovorax avenae subsp. *cattleyae*	301576
Acidovorax konjaci	301465

【使用上または取扱い上の注意】

1. 危険防止の注意
   (1) 本キットの試薬類は、皮膚や髪、衣類等に付けないように注意してください。
   (2) 誤って目や口に入った場合には、直ちに水道水で十分に洗い流す等の応急処置を行い医師の手当てを受けてください。
2. 操作上の注意
   (1) スポイトは、１回の使用とし、他の検査試料で再利用しないでください。
   (2) 本キットは、直射日光や熱源を避け、保存条件に従って保存してください。
   (3) 使用前にテストストリップの判定窓が濡れると正しく判定できませんので、使用を中止し、新しいテストストリップに替えて検査してください。
3. 廃棄上の注意
   廃棄方法は自治体の条例に従ってください。
4. その他の注意
   本キットによる検査結果を元に発生した損害および損失については、責任を負いかねます。

【保存条件・使用期限】

保存上の注意

保存条件：高温高湿を避けて冷蔵（4℃～10℃）で保存してください。

使用期限：外袋等に記載

(1) 密封チャック付き袋はできるだけ空気を除き、チャック部分をしっかり閉めてください。

(2) 使用期限が過ぎた試薬は、使用しないでください。

【お問い合わせ先】

販売元　：株式会社ファスマック 遺伝子検査事業部

住所　　：神奈川県厚木市緑ヶ丘 5-1-3

TEL　　：046-295-8787

FAX　　：046-294-3738

E-mail　：gmo@fasmac.co.jp

WEB　　：https://fasmac.co.jp

【製造元】

株式会社ニップン

※本キットは、茨城県農業総合センターとの共同研究の成果をもとに、株式会社ニップンが製造した商品です。